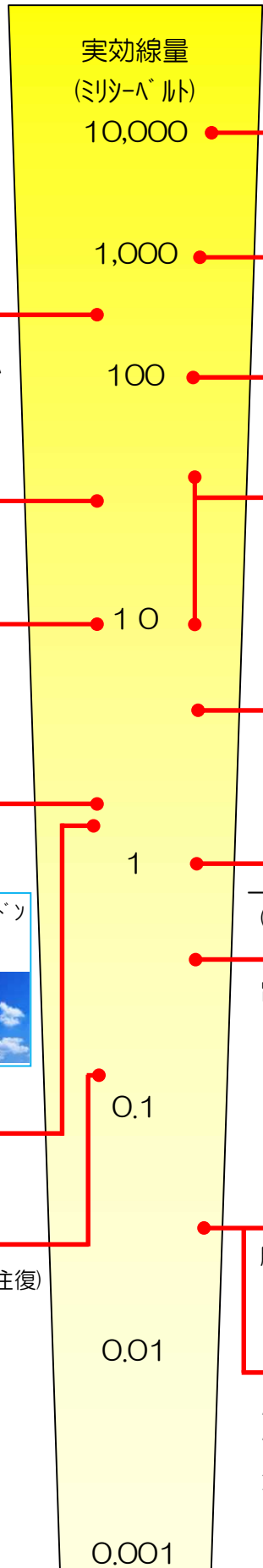


「身の回りの放射線の量」

国内自然放射線の差(年間)
県別平均値の差の最大：0.38

岐阜 ← 神奈川

10,000 7,000~10,000
全身被ばく：死亡



1,000 1,000
全身被ばく
悪心、嘔吐(10%の人)

500 500
全身被ばく
末梢血中のリンパ球の減少

100 100
100mSv以下ではがんの増加は
確認されていない



50 50
放射線業務従事者の被ばく実効線量限度
(年間)

10~60 10~60
放射線治療(がん治療)
(治療部位のみ線量)



10 10
ブラジル・ガハリの放射線
(年間、大地などから)

6.9 6.9
胸部X線CT(1回)



2.4 2.4
一人当たりの自然放射線
(年間、世界平均)

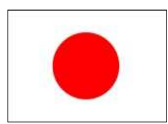
1 1.0
一般公衆の線量限度(年間)
(医療被ばくは除く)



宇宙から	大地から	食物から	空中のドロンから
0.4	0.5	0.3	1.2



0.6 0.6
胃のX線集団検診(1回)



2.1 2.1
一人当たりの自然放射線
(年間、日本平均)

0.05 0.05
胸のX線集団検診(1回)



0.19 0.19
東京~ニューヨーク航空機旅行(往復)
(高度による宇宙線の増加)

0.05 0.05
原子力発電所(軽水炉)
周辺の線量目標値(年間)
(実績ではこの目標値を
大幅に下回っています)



0.001